YAMAHA

TMAX500



取扱説明書

5GJ-28199-J2

JAU01892

はじめに

ヤマハ車をお買いあげいただきありがとうございます。

この取扱説明書には、お買いあげいただいた車の正しい取り扱い方法や安全な運転のしかた、日常点検、簡単な定期点検整備などについて説明してあります。
車は万一取り扱いを誤ると、重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。
車の正しい取り扱いをご理解いただくため、運転される前に必ず本書をお読みください。
また、メンテナンスノート、セーフティガイド（スクーターをより安全にお乗りいただくためのアドバイス）もあわせてお読みください。
本書では、正しい取り扱いおよび点検整備に関する重要な事項を下記のシンボルマークで表示しています。

⚠	**安全にかかわる注意情報を示してあります。**
⚠警　告	**取り扱いを誤った場合、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。**
⚠注　意	**取り扱いを誤った場合、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。**
要　点	**正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。**

車の受け取りの際には、お買いあげいただいた販売店から「取扱説明書」「メンテナンスノート」「セーフティガイド」を受け取り、以下の説明を必ずお受けください。

- 車の正しい取り扱い方法
- 日常点検、定期点検整備
- 保証内容および保証期間
- 保証書の発行（保証書裏面の記入・捺印）

※ 車をゆずるときには、次の持ち主のために本書もお渡しください。

※ 仕様の変更などにより、本書の図や内容が一部実車と異なることがありますのでご了承ください。

もくじ

安全運転のために 2
- あなた自身と同乗者のために 2
- 歩行者と他の車のために 7
- 環境・住民の方との調和のために ... 8

名称と操作 10
- 各部の名称 10
- 計器類の見かた 12
- キーの取り扱い 17
- メインスイッチ 17
- シートの開閉 18
- ハンドルロック 19
- ハンドルスイッチの使いかた 20
- メイントランク 23
- 書類入れ 24
- 可変式ライダーズバックレスト 24
- サービスツール 25
- ヘルメットホルダー 25
- 小物入れ 26
- スタンディングハンドル 26

燃料補給 27
- ガソリンの給油 27

運転操作 29
- エンジンのかけかた 29
- 発進のしかた 32
- ならし運転のしかた 33
- ブレーキの使いかた 34
- 止まりかた 35

日常点検 37
- 日常点検の実施 37
- 日常点検箇所／点検内容 37
- 日常点検の方法 38

定期点検整備 43
- 定期点検整備の実施 43
- 定期点検整備の方法 43
- エアクリーナーエレメントの点検 44
- 車体各部の給油脂状態の点検 45
- バッテリーの点検 45
- ブレーキパッドの点検 46

やさしい整備 47
- やさしい整備 47
- ブレーキ液の補給 48
- エンジンオイルの補給 49
- チェーンドライブオイル 50
- エアクリーナーエレメントの清掃 51
- 冷却水のつくりかた 51
- 冷却水の補充 52
- タイヤ 53
- バッテリー 53
- ヒューズ 55

お車の手入れ 57
- 洗　車 57
- キャストホイールの取り扱い 58
- ウインドスクリーンの取り扱い 59
- 保管のしかた 59
- アフターケア用品について 60
- こんなときは 61

サービスデータ 63
- 製品仕様 63
- サービスデータ 64

車両情報 66

JAU03768

安全運転のために 2

名称と操作 10

燃料補給 27

運転操作 29

日常点検 37

定期点検整備 43

やさしい整備 47

お車の手入れ 57

サービスデータ 63

車両情報 66

JAU01895

安全運転のために

JAU01896

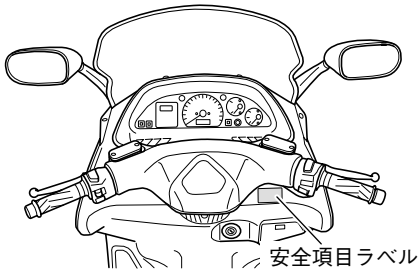
この章には、特に知っておいていただきたいこと、守っていただきたいことなどの基本的なアドバイスを述べてあります。運転するときには、次のことを守って安全運転および上手な操作を心がけてください。

■安全運転とは、交通ルールを守ることだけでなく、ほかの人々が安全に通行できるように配慮することです。

JAU04723

1.あなた自身と同乗者のために

◆安全項目ラベルについて



運転に慣れてきますと、いろいろな注意を忘れがちになり、事故を起こすことがあります。

車に乗るときには、安全項目ラベルの注意事項をいつも守り、安全運転に心がけてください。

⚠ 警 告

- 取扱説明書をよく読んで安全な運転をしましょう。
- ヘルメットを正しくかぶりましょう。
- マフラーは熱くなります。人が触れにくい場所に駐車する等の配慮をしましょう。
- ヘッドランプを昼間はロービーム点灯しましょう。
- 違法改造はやめましょう。
- 定められた点検整備をメンテナンスノートに従って励行しましょう。

3XC-2118K-10

◆安全運転は正しい服装から

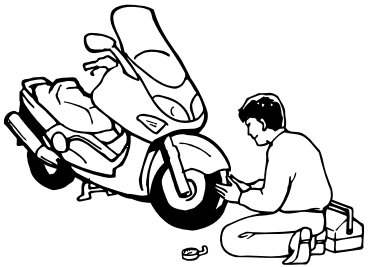
- ヘルメットは必ず着用してください。
  ヘルメットはSまたはSG、JISマークのある二輪車用を必ず着用してください。
  ヘルメットは正しくかぶり、必ずあごひもをしめます。頭にしっくり合って、圧迫感のないものが最適です。
- グローブを必ず着用してください。
- ヘルメットにシールドを着用してください。着用できないときは、ゴーグルを使用してください。
- 運転する服装は、明るく目立つ色で動きやすく、体の露出が少ないものを着用してください。疲労を少なくし、万一の転倒時には身体を保護します。
  ズボンのすそや袖口の広い服は、運転操作のじゃまになり、思わぬ事故の原因にもなりますので避けてください。
- 靴はかかとが低く、足にピッタリしたものを選んでください。
- 同乗者にも上記の注意を守らせてください。



⚠警　告

ヘルメットを正しくかぶっていないと、万一の事故の際、死亡または重傷に至る可能性が高くなります。
運転者と同乗者は、必ずヘルメットをかぶり、正しい服装で乗車してください。

◆日常点検、定期点検整備を必ず行う



事故や故障を防ぐため、法令で定められた1日1回ご使用前に行う日常点検と、法令で定められた6か月、12か月ごとに行う定期点検は必ず実施してください。

◆車の異状

次のような場合は、車が故障しているおそれがあります。そのままにしておくと、走行に悪影響をおよぼしたり、事故につながるおそれがあり危険です。販売店で点検・整備を受けてください。

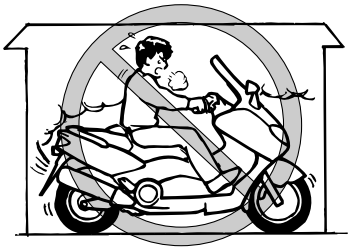
- 異音がしたり、異臭や異常な振動があるとき。
- 地面に燃料、オイル、冷却水などが漏れた跡があるとき。

◆給油時は火気厳禁



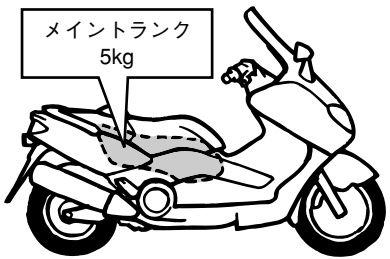
ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。

◆風通しの悪い場所でエンジンを始動しない



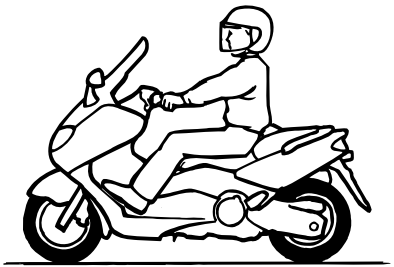
排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。
エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

◆荷物を積むときは



- 上記以外の場所には荷物を積まないでください。
- 荷物を積むと、積まないときにくらべて操縦安定性が変わります。
  荷物を積みすぎると、ハンドルが振られたりして危険ですので、積みすぎないように注意してください。

◆両手はハンドル、両足はフットボード



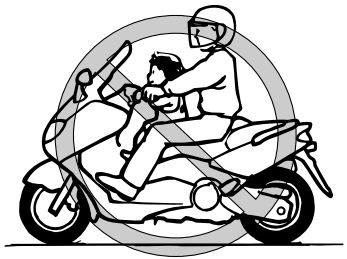
- 運転するときは、両手でハンドルを握り、両足をフットボードにのせます。
- 同乗者には、両手で体をしっかり固定させ、両足を必ずフットボードにのせさせます。

◆押して移動するときはエンジンを止める



車から降りて押して移動するときはエンジンを止めてください。
やむをえずエンジンをかけたまま移動するときは、スロットルグリップを不用意に回さないようにするため必ず右手でスタンディングハンドルを持って行ってください。
スロットルグリップを持って行うと思わぬ事故の原因となります。

◆乗車定員は2名



ただし、免許取得後1年未満の運転者は法令により2人乗りはできません。
フットボードには人を乗せないでください。

◆急激なハンドル操作や片手運転はしない



急激なハンドル操作や片手運転は、横すべりや転倒の原因となります。絶対にしないでください。

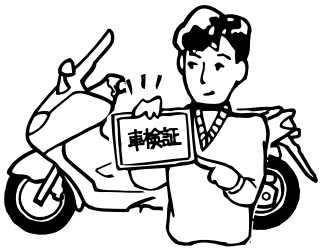
◆自己流のエンジン調整、部品の取り外しはしない

エンジン調整はヤマハ販売店におまかせください。

JAU04339

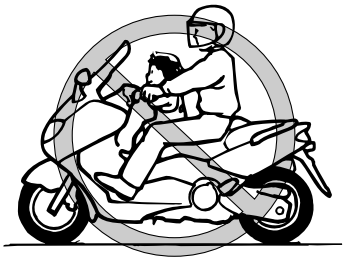
2.歩行者と他の車のために

◆継続検査（車検）は2年ごとに



小型自動車（251cc以上）は国で定める2年ごとの継続検査を受けなければ使用できません。
期間満了前に必ず受けてください。

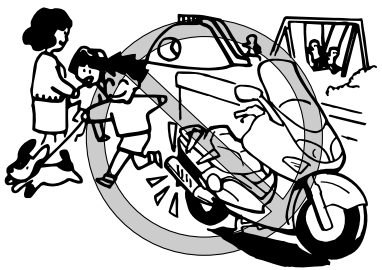
◆他の人への思いやり



- 交通ルールを守り、まわりの歩行者や車の動きに注意し、相手の立場について思いやりの気持ちをもって通行しましょう。
- 周囲の状況に注意して、安全なスピードで走行してください。
  歩行者や自転車のそばを通るときは、安全な距離を保つか徐行してください。

◆駐車

- 盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。
- 交通のじゃまにならない場所に駐車してください。
- 平坦な場所に駐車してください。
  やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。
- サイドスタンドを使用して駐車するときは、車が停止してからハンドルを左に切ってください。



⚠警　告

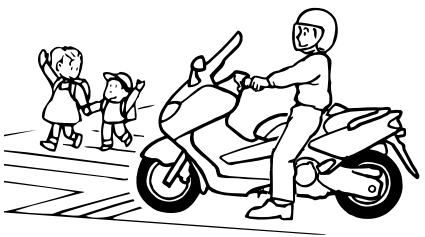
- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。また、物などが直接触れないようにしてください。**
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**

◆昼間はヘッドライトを下向きに

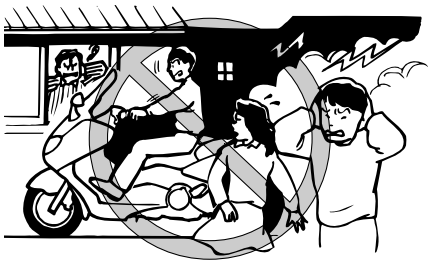
この車両は自動昼間点灯仕様です。エンジンがかかっている間は点灯しつづけます。他の車や歩行者へ注意をうながし、自分の存在を知らせるためです。対向車がまぶしくないように、ライトは下向きを使ってください。

3.環境・住民の方との調和のために

◆住民の方への思いやり

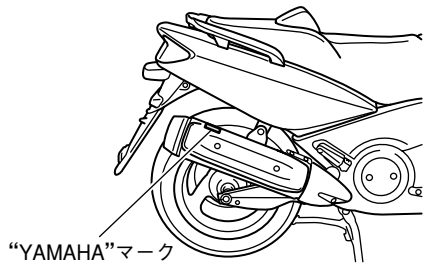


自分の都合だけを考えて、沿道の方に不愉快な騒音などの迷惑をかけないでください。



特に深夜の住宅街や人通りの多い道路などで長時間のアイドリングや急発進などを行うと、迷惑になりますのでしないでください。

◆違法改造はしない



違法改造は法律により禁止されています。改造は操縦安定性を悪くしたり、排気音を大きくして車の寿命を縮めたり、重大な事故や故障の原因となります。
また、改造すると車の保証が受けられません。
なお、ヤマハ純正部品のマフラーには“YAMAHA”マークが刻印されています。

◆環境への配慮

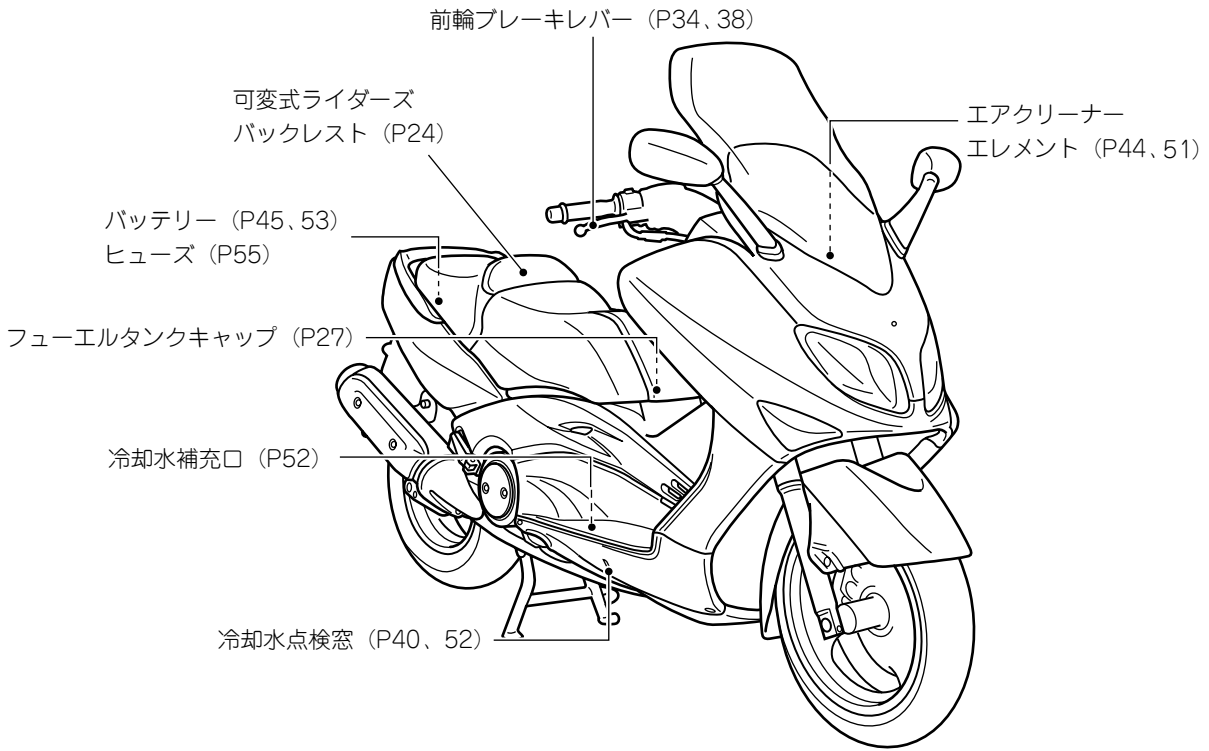
廃車をするときや、バッテリー、廃油などの廃棄処理をするときは、環境保護のためお買い上げのヤマハ販売店にご相談ください。

JAU01917

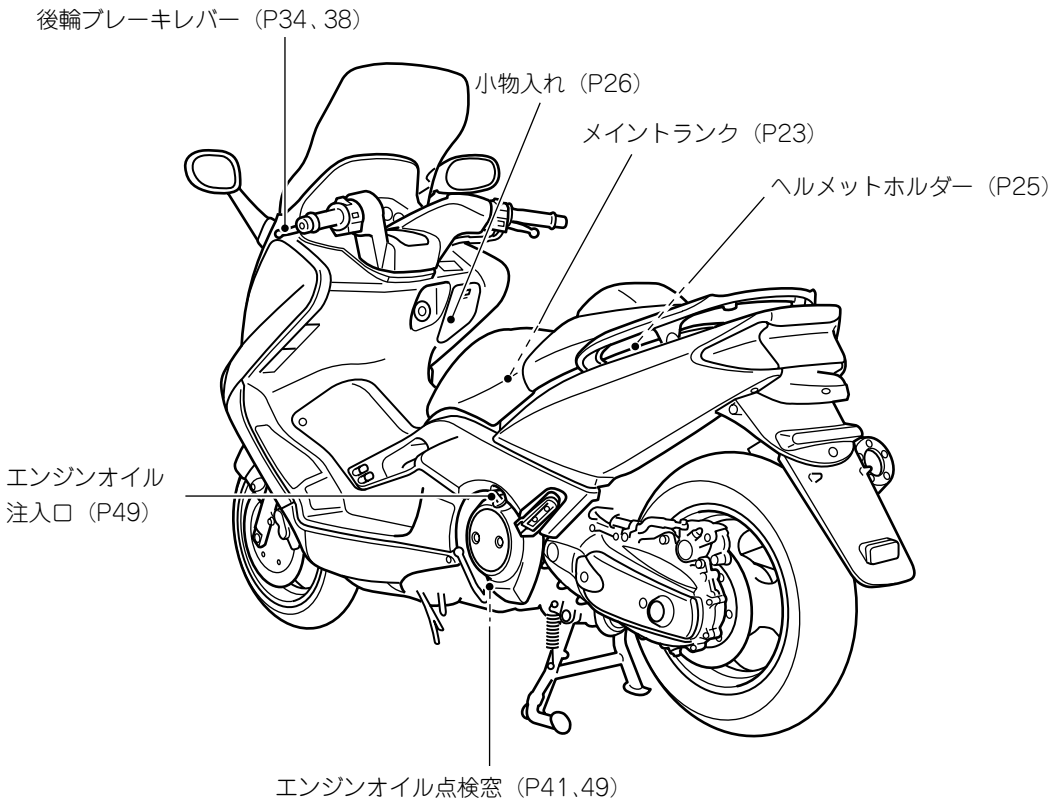
名称と操作

JAU01918

各部の名称

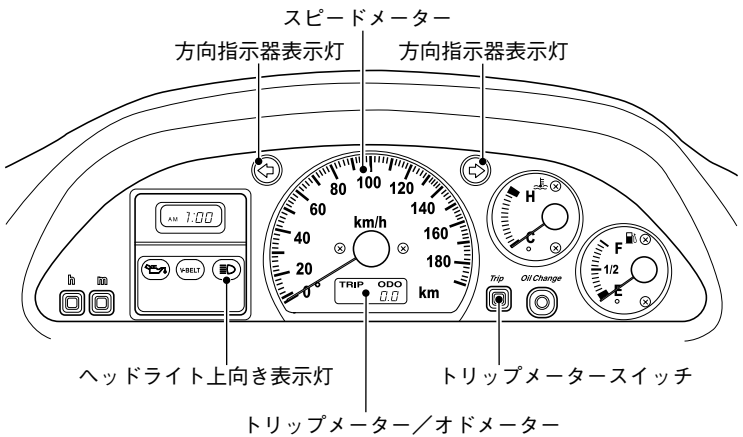


各部の名称を示してあります。（　）内に参照ページがあるものは、そのページに詳しい説明があります。
（……部は外からは見えない部分です。）


後輪ブレーキレバー（P34、38）
小物入れ（P26）
メイントランク（P23）
ヘルメットホルダー（P25）
エンジンオイル
注入口（P49）
エンジンオイル点検窓（P41、49）

JAU01919

計器類の見かた



JAU01922

◆スピードメーター

車の速度を指針で示します。

JAU04336

◆トリップメーター／オドメーター

メインスイッチをONにすると表示します。
メインスイッチをOFFにしても設定は記憶されています。

トリップメーター（TRIP）
トリップメータースイッチを1秒以上押してメーターを “0.0” にすると、次にリセットするまでの走行距離を積算します。
トリップメータースイッチを1秒未満押すと、オドメーターに切り替わります。

オドメーター（ODO）
走行した総距離をkmの単位で示します。オイル交換や定期点検整備の目安にもなります。
トリップメータースイッチを1秒未満押すと、トリップメーターに切り替わります。

JAU01944

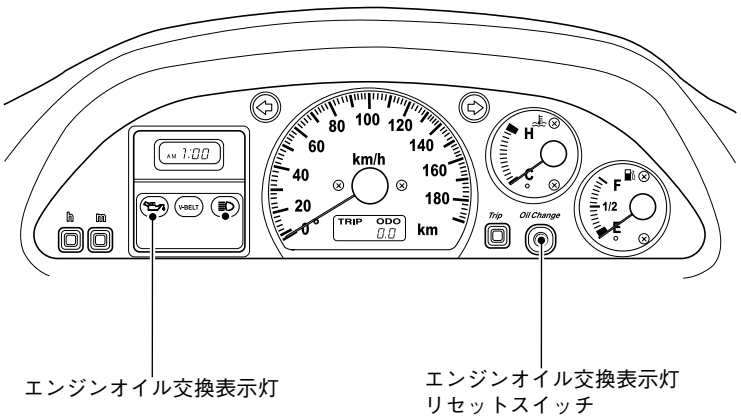
◆方向指示器表示灯（⇦⇨）

方向指示器に合わせて点滅します。

JAU01945

◆ヘッドライト上向き表示灯（≡D）

ヘッドライトを上向き点灯すると、表示灯も点灯します。



エンジンオイル交換表示灯

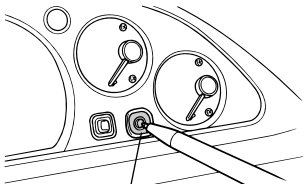
エンジンオイル交換表示灯
リセットスイッチ

JAU04319

◆エンジンオイル交換表示灯

エンジンオイルの交換時期を知らせます。
初回は、走行距離が1,000kmなるとエンジンオイル交換表示灯が点灯します。ランプが点灯したら早めにエンジンオイルを交換してください。

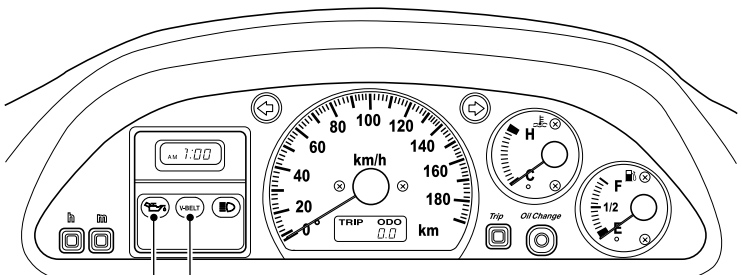
オイル交換後は必ずリセットしてください。リセットはメインスイッチをONにして、リセットスイッチをペン先などで2～5秒間押します。リセットするとエンジンオイル交換表示灯が消灯します。
以降は、リセット後6,000km走行すると点灯します。



エンジンオイル交換表示灯
リセットスイッチ

要　点

- エンジンオイル交換表示灯の球切れ点検のため、メインスイッチをONにしたとき約1.4秒間点灯します。
- エンジンオイル交換表示灯が点灯する前にオイル交換したときも、リセットスイッチを押してください。
- バッテリーがあがりぎみのときにスタータースイッチを押して離すと、約1.4秒間点灯することがあります。これはバッテリーが原因による症状です。
  ヤマハ販売店で早めにバッテリーの点検または交換をしてください。



JAU04332

自己診断機能

この車には、点火系統などの電気回路の自己診断機能が装備されています。
これらの回路が故障した場合、エンジンオイル交換表示灯が点滅して知らせます。
エンジンオイル交換表示灯が点滅したら、早めにヤマハ販売店で点検を受けてください。

要　点

エンジンオイル交換表示灯は、エンジンをかけ、メインスタンドを立てたときに点滅することがありますが、これは異常ではありません。

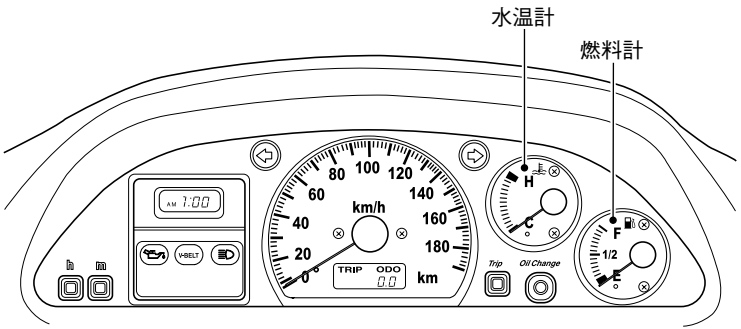
JAU04345

◆Vベルト交換表示灯（V-BELT）

Vベルトの交換時期を知らせます。
走行距離が20,000kmになると、Vベルト交換表示灯が点灯します。ランプが点灯したら、早めにヤマハ販売店に交換を依頼してください。
以降は、Vベルトの交換後20,000km走行すると点灯します。

要　点

- Vベルトの交換後、Vベルト交換表示灯が消灯していることを確認してください。
- Vベルト交換表示灯の球切れ点検のため、メインスイッチをONにしたとき約1.4秒間点灯します。



JAU03389

◆水温計（ ）

エンジン冷却水の温度を表示します。
走行中は指針が“C”と“H”の間を示します。
万一、“H”を示したら、エンジンを止めてリカバリータンクの水量を点検してください。

▲注　意

長時間のアイドリングにより、指針が“H”を示すことがあります。このときは、走行するか、エンジンを止めて冷やしてください。

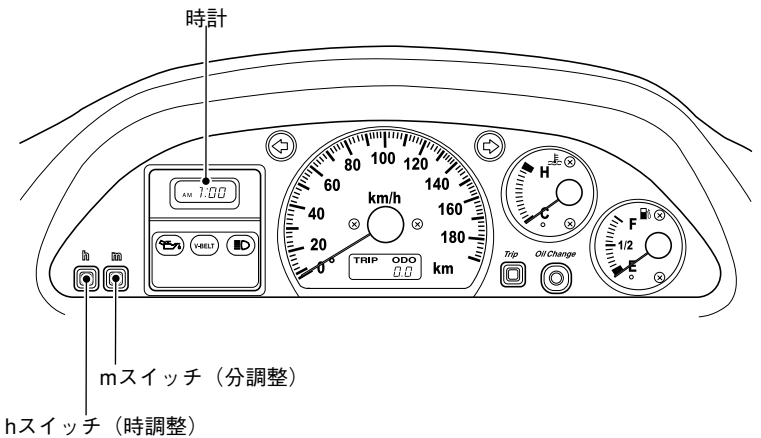
JAU03242

◆燃料計（ ）

ガソリンの残量を示します。
指針が“E”に近づいたら、早めに補給してください。

要　点

- 燃料計はメインスイッチがONのときにだけ作動します。OFFのときは指針が“E”より下側に移動します。
- 残量の確認は、平坦な場所でメインスタンドを立て、メインスイッチをONにしてください。



JAU01978

◆時計

時刻を常に表示します。
時刻の修正は、時刻調整スイッチで行います。

JAU04235

時刻調整スイッチ（時調整）

hスイッチを押して＜時＞の表示を調整します。
なお、スイッチを押し続けると、連続して＜時＞の表示が変わります。

JAU04236

時刻調整スイッチ（分調整）

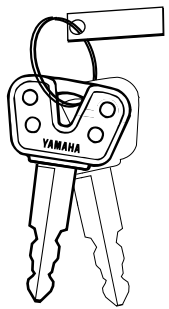
mスイッチを押して＜分＞の表示を調整します。
なお、スイッチを押し続けると、連続して＜分＞の表示が変わります。

要　点

hスイッチとmスイッチを同時に押すと、AM1:00にリセットされます。

JAU04671

キーの取り扱い

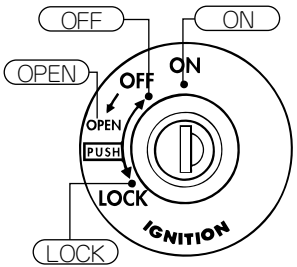


- キーは車の操作や保管をするときなどに使用する大切なものです。キーを紛失しないように、充分に注意してください。
- キーは 2 本付属しています。1 本は予備として大切に保管してください。
- 1 本のキーを紛失または破損したときは、販売店またはキーショップなどで新しい予備キーを作っておいてください。
- キーを 2 本とも紛失または破損したときは、販売店にご相談ください。

JAU02014

メインスイッチ

メインスイッチはエンジンの始動と停止、ブレーキランプや方向指示灯などの電源の「入/切」、ハンドルロック、シートのロック解除を行います。



JAU04320

ON

- エンジンの始動ができます。
- キーは抜けません。
- テールランプ、ポジションランプ、メーター灯、ライセンスランプが点灯します。
- エンジンを始動させると、ヘッドライトが点灯します。

要　点

- スタータースイッチを押して、エンジンが始動しないときにもヘッドライトが点灯することがありますが、異常ではありません。
- エンストしてもヘッドライトは点灯しています。

- エンジンオイル交換表示灯、Vベルト交換表示灯の球切れの確認のため、走行距離に関係なくランプが約1.4秒間点灯します。

⚠注　意

エンジンオイル交換表示灯、Vベルト交換表示灯が点灯しないときや、点滅しているときは、すぐにお買い上げのヤマハ販売店で点検を受けてください。

要　点

サイドスタンドを使用すると、エンジンが止まり、ヘッドライトが消灯します。

JAU02036

OFF

- エンジンを止めます。
  エンジンは始動できません。
- キーの抜き差しができます。

JAU02038

LOCK（ハンドルロック）

- ハンドルをロックします。
- キーの抜き差しができます。

JAU02042

⚠警　告

走行中にメインスイッチをOFFやLOCKの位置にすると、電気系統の作動が停止し、事故につながるおそれがあります。
メインスイッチは必ず停車中に操作してください。

JAU02045

⚠注　意

- **盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。**
- **メインスイッチをONのままにしたり、エンジン始動後アイドリング状態を長時間続けると、バッテリーあがりの原因となります。注意してください。**

JAU02048

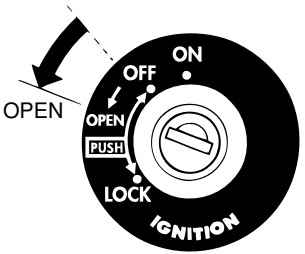
OPEN（シートロックオープナー）

- シートのロックを解除します。
- キーを放すと、キーは自動的にOFFの位置に戻ります。

JAU04673

シートの開閉（シートロックオープナーの使いかた）

シートを開けるときは、メインスイッチをOFFからOPENにするとシートロックが解除され、そのまま手で開けることができます。
シートは油圧ダンパーの作動により軽く持ち上がります。閉めるときは、シートをそのまま降ろし、シート後部を押さえてロックします。



⚠警　告

シートの開閉はメインスタンドを立ててから行ってください。

要　点

- シートを開けると、トランク照明灯が点灯します。トランク照明灯はメインスイッチに関係なく、シートが開いている間は点灯します。
- シートを降ろしたら、確実にロックされているか確認してください。



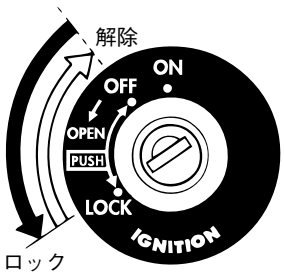
▲注　意

シートを開けたまま長時間放置すると、バッテリーあがりの原因になります。注意してください。

JAU02053

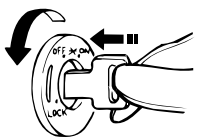
ハンドルロック

ハンドルロックは駐車時などの盗難予防用です。



ロックのしかた

1. ハンドルを左へいっぱいに切ります。
2. OFFの位置でキーを押し込み、そのままLOCKまで回します。



要　点

ロックしにくいときは、ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回します。

3. ハンドルを軽く左右に動かして、ロックを確認します。
4. キーを抜きます。

▲警　告

- **交通のじゃまにならない場所に駐車してください。**
- **平坦な場所に駐車してください。やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。**
- **エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。触れるとヤケドをすることがありますので、注意してください。また、物などが直接触れないようにしてください。**
- **駐車は、通行する人がマフラーやエンジンなどに触れない場所にしてください。**

⚠注　意

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。

解除のしかた

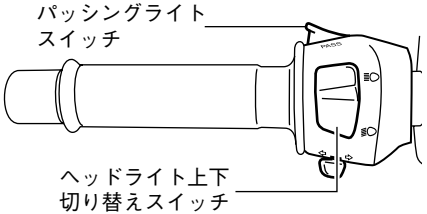
キーをLOCKの位置で押し込み、そのままOFFまで回します。

⚠警　告

走行前にハンドルを左右に切り、切れ角が左右均等であるかを確認します。

JAU02070

ハンドルスイッチの使いかた



JAU04111

◆パッシングライトスイッチ（PASS）

ヘッドライトの上向きを点灯させるスイッチです。先行車の追い越しなどで、他車に合図をするときに使用します。

要　点

ヘッドライト上下切り替えスイッチが≡Dのときは、使用できません。

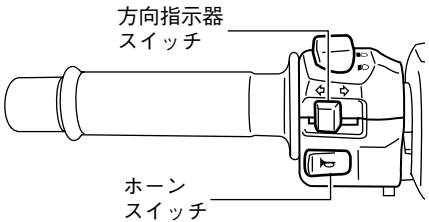
JAU04335

◆ヘッドライト上下切り替えスイッチ（≡D ≋D）

ヘッドライトの配光を上向き、下向きに切り替えるスイッチです。
≡D（上向き）：遠くを照らします。
≋D（下向き）：近くを照らします。

要　点

- ≡D（上向き）のときは右側1灯、≋D（下向き）のときは左側1灯が点灯します。
- 先行車や対向車があるときは、ヘッドライトを下向き≋Dにしてください。



JAU03550

◆方向指示器スイッチ（⇦⇨）

進路変更の合図に使用します。
操作は、進路変更する側にスイッチをスライドさせます。
消灯するときは、スイッチを押します。

⇨：右側の方向指示灯が点滅します。
⇦：左側の方向指示灯が点滅します。

▲警　告

方向指示灯は自動的に消灯しません。使用後は必ず消灯してください。点滅したままにしておくと、他の方の迷惑になります。

▲注　意

電球を交換するときは、正規のワット数のものを使用してください。これ以外のものを使用すると、正常に作動しません。

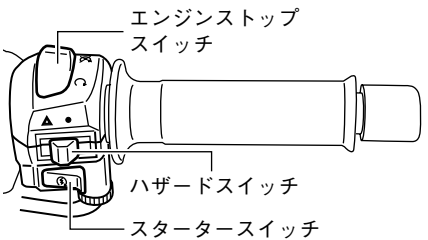
JAU02083

◆ホーンスイッチ（）

スイッチを押すとホーンが鳴ります。

要　点

必要なときにのみ使用してください。



JAU03993

◆エンジンストップスイッチ（⊠⊂）

非常時に、エンジンをすぐに停止させるスイッチです。通常は⊂にしておきます。

⚠警　告

非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止させたときは、マフラーやエンジンなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。

⚠注　意

- **非常時にエンジンストップスイッチでエンジンを停止させたときは、必ずメインスイッチをOFFにしてください。ON のままですと、バッテリーあがりの原因となります。**
- **走行中に、エンジンストップスイッチを⊂→⊠→⊂にしないでください。エンジンの回転が不円滑となり、エンジン不調の原因となります。また、排出ガス浄化装置の故障の原因となります。**

要　点

⊠にすると、エンジンは始動できません。

JAU02073

◆ハザードスイッチ（△）

故障などの非常時に、他車に知らせるために使用します。
メインスイッチをONにして、ハザードスイッチを△にすると、すべての方向指示灯が点滅します。

⚠注　意

長時間ハザードスイッチを△のままにすると、バッテリーあがりの原因になります。

JAU04013

◆スタータースイッチ（Ⓢ）

エンジンを始動するスイッチです。
始動するときはメインスイッチをONにし、後輪ブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押します。

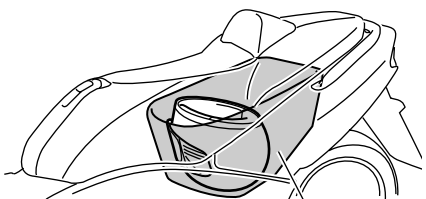
⚠注　意

スターターモーターを連続して回転させないでください。消費電力が多いためバッテリーあがりの原因となります。

JAU04323

メイントランク

シート下にトランクがあります。
ヘルメットを収納するときは、図のように収納してください。



▲警　告

メイントランクに積載できるのは5kgまでです。

要　点

- メイントランクにはフルフェイスヘルメットが収納可能ですが、サイズ、形状によっては入らないものもあります。
- シートを開けるとトランク照明灯が点灯します。トランク照明灯はメインスイッチに関係なく、シートが開いている間は点灯します。
- シートを降ろしたら、シートがロックされているか確認してください。

▲注　意

- **シートを開けたまま長時間放置すると、バッテリーあがりの原因になります。注意してください。**
- **洗車をすると中に水が入ることがあります。**
  大切なものは、ビニール袋などに入れて収納してください。
- **濡れたものは、ビニール袋に入れてから収納してください。**
  濡れたまま入れると、トランクの内張りにカビなどが発生することがあります。
- **貴重品やこわれやすい物は入れないでください。**
- **トランク内は直射日光などで温度が高くなります。熱の影響を受けやすい物は入れないでください。**
- **車から離れるときは、必ずシートおよび各カバーをロックしてください。**
- **キーをトランク内に入れたままシートを閉じると、ロックされて開けられなくなります。注意してください。**
- **シートを閉める前に、ヘルメットや荷物がシートに干渉していないことを確認してください。**

JAU04015

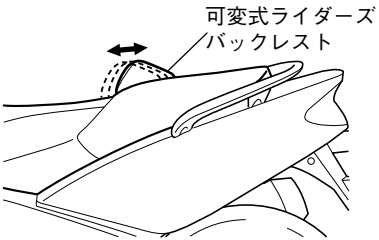
書類入れ

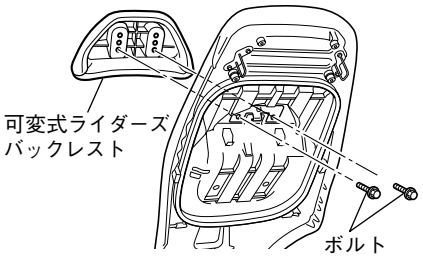
メンテナンスノート、自賠責保険証はビニール袋に入れて、トランク内に保管してください。

JAU04324

可変式ライダーズバックレスト

各自の体格や好みに合わせてライディングポジションが調整できる、可変式ライダーズバックレストを装備しています。





調整方法

調整範囲は3段階あります。シートを開け、シート裏側のボルトを外し、ライダーズバックレストの取り付け位置を調整します。

標準位置	1段
調整範囲	1段（最後部）～3段（最前部）

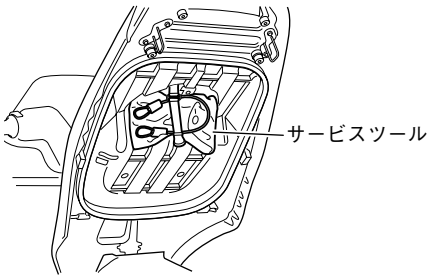
⚠警　告

シート調整後、左右のボルトを確実に締め付けてください。

JAU03249

サービスツール

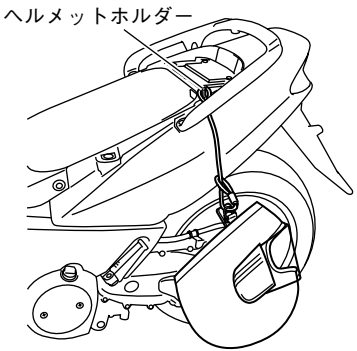
シートを開けると、シートの裏側に格納されています。



JAU04344

ヘルメットホルダー

シート下にヘルメットホルダーがあります。シート裏側に収納されているヘルメットホールディングケーブルを使用し、図のようにヘルメットをヘルメットホルダーに掛けて、シートを閉めてください。



要　点

シートがロックされていることを確認してください。

⚠警　告

ヘルメットをヘルメットホルダーに掛けたまま走行しないでください。
ヘルメットが運転を妨げ、思わぬ事故の原因になったり、ヘルメットが損傷し保護機能が低下することがあります。また、車に損傷を与えることがあります。

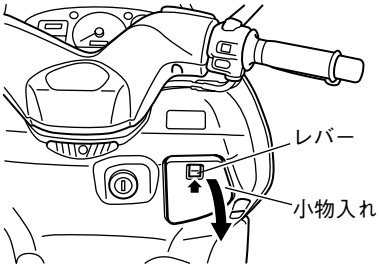
⚠注　意

ヘルメットホールディングケーブルの両端をヘルメットホルダーに掛けるなどの方法で使用すると、トランク内に雨水やホコリなどが入ることがあります。

JAU04322

小物入れ

小物などを収納できます。レバーを引いて、カバーを開けてください。



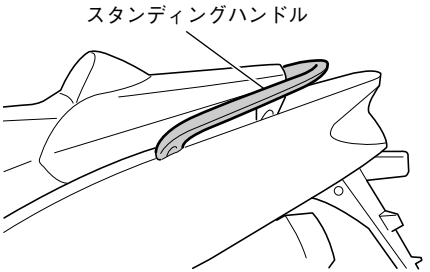
⚠警　告

小物入れには重量物を積載しないでください。

JAU02331

スタンディングハンドル

メインスタンドを立てるときに右手で持ちます。



JAU02336
燃料補給

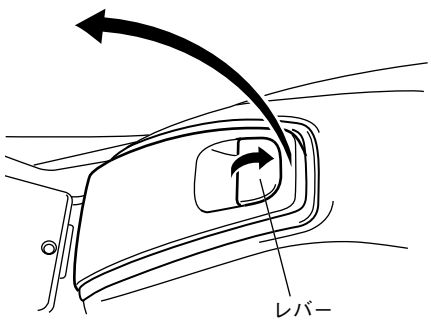
JAU04800
ガソリンの給油

⚠警　告

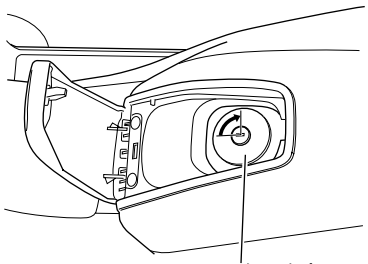
給油時およびガソリンを取り扱う場合は、次のことを必ず守ってください。

- **給油時は必ずエンジンを止め、火気を近づけないでください。ガソリンは揮発性が高く、引火しやすい燃料です。**
- **フューエルタンクキャップを開ける前に、車体などの金属部分に触れて静電気の除去を行ってください。身体に静電気を帯びた状態で給油すると、放電による火花で引火する場合があり、ヤケドするおそれがあります。**
- **給油操作は、必ず一人で行ってください。複数で行うと静電気が除去できない場合があります。**
- **給油は、必ず屋外で行ってください。**
- **給油限度を超えてガソリンを入れないでください。走行中にガソリンがにじみ出ることがあり危険です。**
- **給油後、フューエルタンクキャップを確実に閉めてください。**

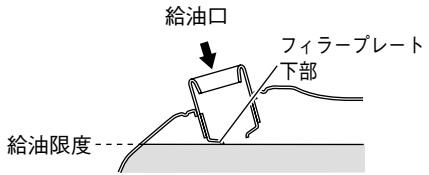
1. シート前方のレバーを引き、カバーを開けます。



2. キーを差し込み、時計方向に回してフューエルタンクキャップを開けます。



3. ガソリンを給油します。
   ガソリンは注入口にあるフィラープレート下部より上に入れないでください。

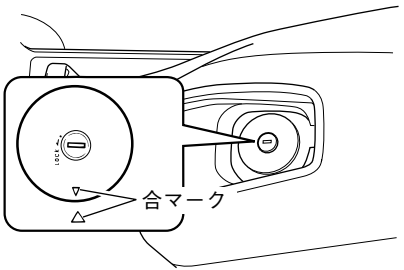


タンク容量：約14L
指定燃料：無鉛プレミアムガソリン

⚠注　意

- **必ず指定燃料を使用してください。指定以外の燃料を使用するとエンジンの始動性が悪くなったり、出力低下などのエンジン不調の原因となる場合があります。また、エンジンや燃料系の部品を損傷するおそれがあります。**
- **こぼれたガソリンは、布きれなどできれいにふき取ってください。**
- **タンクにゴミやチリなどの不純物が入らないように注意してください。**

4. 給油後は手で押さえてフューエルタンクキャップを確実に閉めます。



要　点

フューエルタンクキャップを取り付けるときは、キャップ側と車体側の合マークをあわせて押し込みます。

5. キーを反時計方向に回して抜き、カバーを閉めます。

要　点

キーを抜き取ると、フューエルタンクキャップを閉めることはできません。
また、フューエルタンクキャップを正しく閉めないと、キーを抜き取ることはできません。

JAU02374
運転操作

JAU04325
エンジンのかけかた

エンジンをかける前に

- エンジンを始動するときは、風通しのよい屋外で行います。

⚠警　告

排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。
風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。
エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。

- ガソリンが充分にあることを確認します。
- メインスタンドを立て、必ず車の左側から操作します。

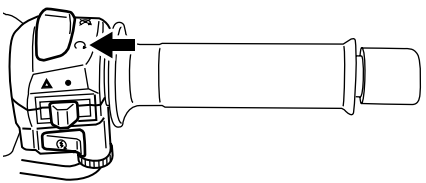
要　点

この車には、エンジン始動時の飛び出しを防止するサイドスタンドスイッチが装備されています。
サイドスタンド使用時は、スタータースイッチを押してもスターターモーターは作動しません。
また、サイドスタンドを出すとエンジンは停止します。

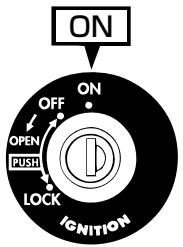
⚠注　意

- **サイドスタンドがスムーズに作動しないときは、取付部に注油してください。**
- **サイドスタンドを使用してエンジンを停止したときは、メインスイッチがONになっています。テールランプ、メーター灯、ポジションランプ、ライセンランプが点灯しているため、バッテリーあがりの原因となります。メインスイッチを必ずOFFにしてください。**

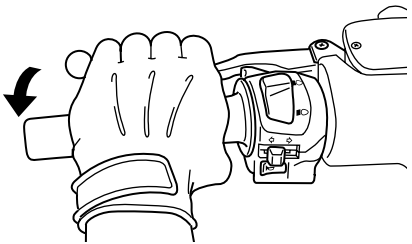
1 エンジンストップスイッチが○にあるか確認します。



2 メインスイッチをONにします。



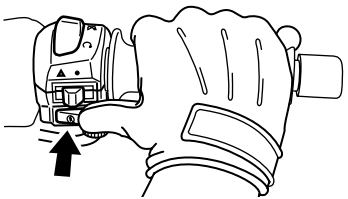
3 後輪ブレーキレバーをしっかり握ります。



⚠警　告

飛び出し防止のため、エンジン始動時は必ず後輪ブレーキを作動させます。

4 スロットルグリップを回さずに、スタータースイッチを押します。
エンジンが始動したら、スタータースイッチから指をはなしてください。



⚠注　意

スタータースイッチで5秒以内にエンジンが始動しないときは、バッテリー電圧を回復させるため、10秒ぐらい休ませてから押しなおしてください。

5 発進する前に、エンジンの回転がなめらかになるまで暖機運転をします。

⚠注　意

外気温が約5℃以下のときは、エンジン保護のため、普段よりも長く暖機運転を行ってください。

⚠警　告

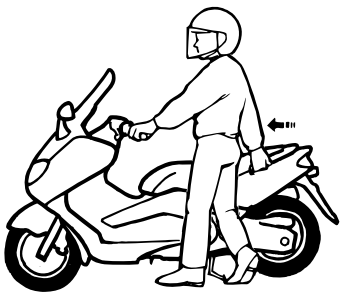
メインスタンドを立ててエンジンをかけているときは、リヤホイールに手や足が触れないようにしてください。

JAU02452

発進のしかた

1 メインスタンドを戻します。

1. 左手で後輪ブレーキレバーを握り、右手でスタンディングハンドルを持ちます。
2. 車を前に押し出してメインスタンドを戻します。

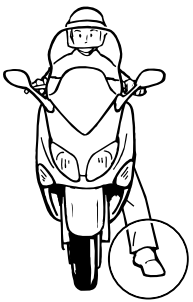


⚠警　告

メインスタンドを立てたり戻したりするときは、スタンディングハンドルを持ちます。スロットルグリップを握って押し出すと、スロットルグリップが回り、車が走り出すことがあります。

2 車に乗ります。

1. 車の左側から右足をフットボードに乗せます。
2. シートに腰をおろします。
   このとき、車が倒れないように左足で支えてください。

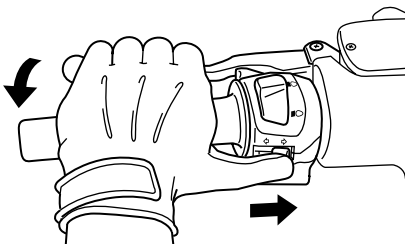


⚠警　告

飛び出し防止のため、走り出すまではエンジンの回転をむやみに上げないでください。

3 前後の安全を確認します。

1. 方向指示器スイッチを右側に入れ、発進の合図をします。
2. 前後の安全を確認します。

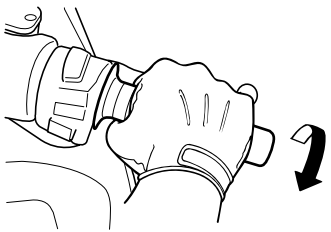


⚠警　告

発進するときは、通行中の人や交通量などに充分注意します。
特に、夜間や後方の車には気を付けてください。

4 **発進します。**

1. 後輪ブレーキレバーをはなします。
2. スロットルグリップをゆっくり手前に回して発進します。



要　点

発進後は方向指示灯をすみやかに消灯します。

⚠警　告

- **スロットルグリップを急激に手前に回すと、急発進して危険です。**
- **走行中にサイドスタンドを操作するとエンジンが停止し、思わぬ事故の原因となることがあります。走行中はサイドスタンドを操作しないでください。**

JAU02457

◆スピードの調整

スピード調整はスロットルグリップを回して行います。

戻す：

スピードが遅くなります。すばやく戻してください。

手前に回す：

スピードが速くなります。ゆっくり回してください。



⚠注　意

上り坂で停止するときは、ブレーキを使用してください。スロットルグリップの操作で車を保持すると、クラッチなどが発熱して故障の原因となります。

JAU02465

ならし運転のしかた

車を長持ちさせるために、ならし運転を行ってください。

乗りはじめてから約 1 か月間（または 1,000km走行まで）は、不要なからふかしや急加速、急減速はしないでください。

JAU04598

ブレーキの使いかた

- スロットルグリップを戻し、前輪ブレーキレバーと後輪ブレーキレバーを同時に握り、ブレーキをかけます。
- ブレーキは徐々に、しぼり込むようにかけるのが上手なかけかたです。
  余裕をもったブレーキ操作をしてください。
- 不要な急ブレーキはかけないでください。
  急ブレーキをかけると、横すべりや転倒の原因となるときがあります。



⚠警　告

雨の日や水たまりを走行した後は、ブレーキのききが悪くなることがあります。
ききが悪いときは、安全な場所で前後の車に充分注意し、低速で走行しながらききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させ、ブレーキの湿りをかわかしてください。

要　点

- 前輪または後輪ブレーキだけを使うと、横すべりや転倒の原因となるときがあります。必ず前後のブレーキを同時にかけてください。
- 雨の日や路面がぬれているところ、雪道や凍った道路では、滑りやすく制動距離も長くなります。速度を落として、余裕をもった運転をしてください。
- 長い下り坂などで連続してブレーキを使用すると、フェード現象の原因となります。このようなときは、エンジンブレーキと断続的なブレーキ操作で走行してください。

要　点

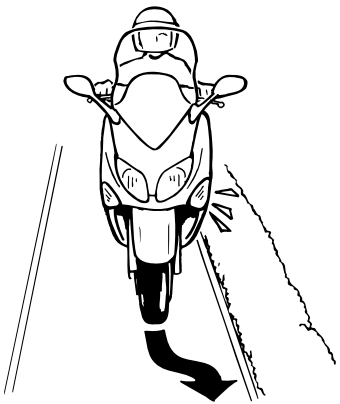
- フェード現象
  ブレーキ部の温度が上昇すると、ブレーキのききが悪くなるか、まったくきかなくなる現象。
- エンジンブレーキ
  走行中、スロットルグリップを戻したときにかかる制動力。

JAU04017

止まりかた

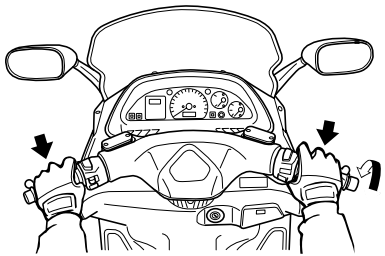
1 **止まる場所が近づいたら**

1. 方向指示器スイッチを左側にスライドさせ、左に寄る合図をします。
2. 後方の安全を確認します。
3. 周りの交通に注意しながら、徐々に左に寄ります。



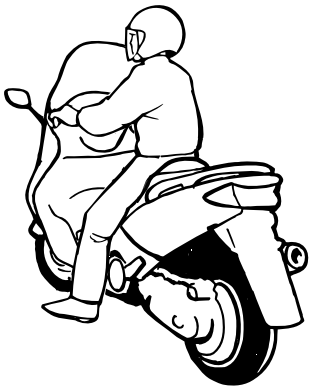
2 **ブレーキを徐々にかけます。**

1. スロットルグリップを戻します。
2. 徐々に前輪、後輪のブレーキをかけます。
   不要な急ブレーキはかけないでください。



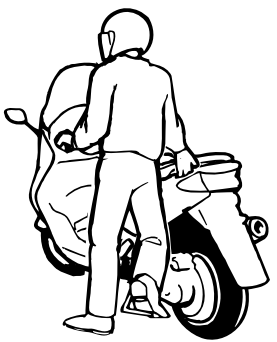
3 **車が止まったら**

1. 左足を地面につけて、車を支えます。
2. 方向指示器スイッチを押して、方向指示灯を消します。
3. メインスイッチをOFFにして、エンジンを止めます。
4. 車の左側に降ります。



4 **メインスタンドを立てます。**

1. 左手でハンドルを、右手でスタンディングハンドルを持ちます。
2. 車を垂直にし、右足でメインスタンドを降ろします。
   このとき、メインスタンドの脚が左右とも地面につくことを確認します。
3. 右足でメインスタンドを強く踏み込みながら、右手でスタンディングハンドルを引き上げます。



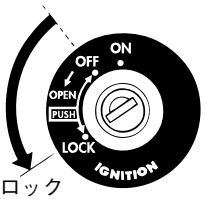
⚠警　告

- **マフラーは熱くなっています。人が触れない場所に駐車してください。**
- **交通のじゃまにならない場所に駐車してください。**
- **平坦な場所に駐車してください。**
  やむをえず、傾斜地や柔らかい地面などの不安定な場所に駐車するときは、転倒や動き出しのないようにしてください。

JAU04340

◆駐車をするときは

盗難予防のため、車から離れるときは必ずハンドルロックをかけ、キーをお持ちください。また、チェーンロックなどのサイクルロックも同時に使用することをおすすめします。



JAU02482

日常点検

JAU03277

日常点検の実施

車を安全で快適に使用いただくため、道路運送車両法で、1日1回の日常点検を行うことが義務づけられています。
必ず実施してください。

⚠警　告

- **日常点検を怠ると重大な事故やケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU02491

日常点検箇所／点検内容

詳しい点検の方法は、次頁以降の日常点検の方法および別冊「メンテナンスノート」の点検整備のしかた以降を参照してください。

点検箇所	点検内容
ブレーキ	● ブレーキレバーの握りしろが適切で、ブレーキのききが充分であること。 ● ブレーキ液の量が適当であること。
タイヤ	● タイヤの空気圧が適当であること。 ● 亀裂、損傷がないこと。 ● 異常な摩耗がないこと。 ※ 溝の深さが充分あること。
エンジン	※冷却水の量が適当であること ※ エンジンオイルの量が適当であること。 ※ かかり具合が良好で、かつ、異音がないこと。 ※ 低速、加速の状態が適当であること。
灯火装置および方向指示灯	点灯または点滅具合が良好で、かつ、汚れや損傷がないこと。
運行において異常が認められた箇所	当該箇所に異常がないこと。

（注）
※印の点検は車の走行距離、運行時の状態などから判断した適切な時期（長距離走行時や洗車、給油後など）に実施をしてください。

⚠警　告

点検するときは下記の内容に注意してください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選んで行ってください。**
- **エンジン停止直後は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。直接触れたりしないでください。**
  ヤケドに注意してください。
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。**
- **走行して点検するときは、交通状況に注意してください。**

JAU03528

日常点検の方法

◆ブレーキレバーの遊び、きき具合の点検

JAU04326

ブレーキの遊びの点検

前後とも、ブレーキレバーの遊びはありません。

⚠警　告

ブレーキレバーの引き具合がやわらかく感じられるときは、エアが混入しているおそれがあります。ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02502

ブレーキのきき具合の点検

乾いた路面を走行し、前輪ブレーキ、後輪ブレーキを別々に作動させたときのきき具合を点検します。

ブレーキのきき具合が悪いときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

⚠警　告

走行して点検するときは、交通状況に注意し、低速で走行しながら行ってください。

JAU04653

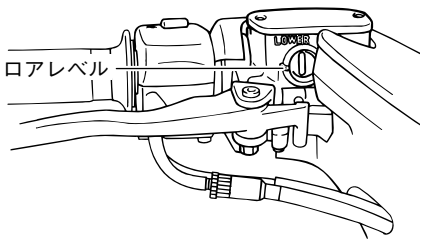
◆ブレーキ液量の点検

マスターシリンダーキャップ上面を水平にして、ブレーキリザーバータンク内の液量がロアレベル以上にあるかを点検します。（ブレーキ液の補給は、48ページ参照）

⚠警　告

ブレーキ液の減りが著しいときは、ブレーキ系統の液漏れが考えられます。

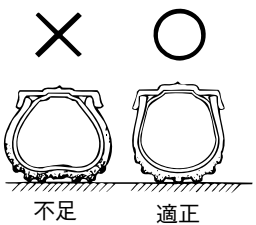
ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



JAU03513

◆タイヤの空気圧

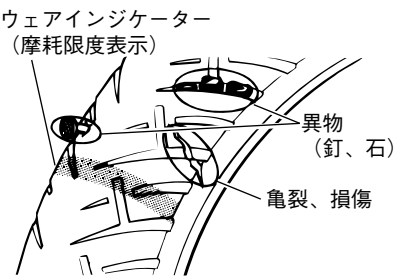
タイヤ接地部のたわみ状態により空気圧が不足していないかを点検します。
たわみ状態が異常なときは、タイヤゲージで点検し、正規の空気圧にしてください。
（タイヤ空気圧は53ページ参照）



JAU02508

◆タイヤの亀裂、損傷の点検

タイヤの接地面や側面に著しい亀裂や損傷がないかを点検します。
この車はチューブレスタイヤを装着しています。タイヤの接地面や側面に釘、石、その他の異物が刺さったり、かみ込んだりしていないかを点検し、異常があったときはヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。



JAU02509

◆タイヤの異常な摩耗

タイヤの接地面が異常に摩耗していないかを点検します。

JAU03272

◆タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さをウェアインジケーターで点検します。ウェアインジケーターがあらわれたら、タイヤを交換してください。タイヤに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

⚠警　告

タイヤに異常があると、操縦安定性に影響をおよぼしたりパンクの原因になります。異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

要　点

- ウェアインジケーターはタイヤの溝が0.8 mmになるとあらわれます。
- より安全な走行のため、溝の深さが前輪1.6 mm、後輪2.0 mm以下になりましたらタイヤの交換をおすすめします。

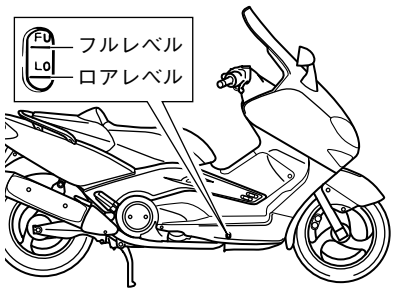
JAU04341

◆冷却水量の点検

要　点

冷却水量の点検は、エンジンが冷えた状態で行ってください。

フットボード右下の点検窓から、リカバリータンク内の冷却水量がフルレベルとロアレベルの範囲内にあるかを点検します。
冷却水がロアレベル以下のときは、52ページを参照して補充してください。



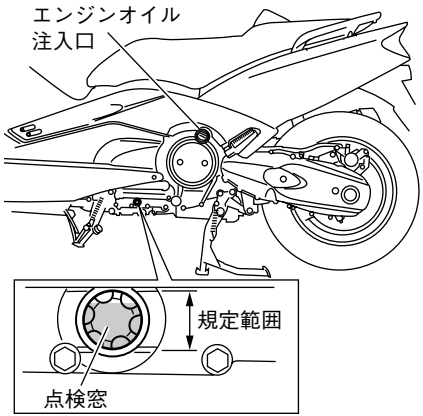
JAU04342

◆エンジンオイル量の点検

⚠注　意

エンジンオイル量の点検は、エンジンが冷えた状態で行ってください。

1. 平坦な場所でメインスタンドを立てます。
2. エンジンを始動し、2分間アイドリング運転します。
3. エンジンを止めます。
4. 2分後、エンジンオイルが点検窓の規定範囲内にあるかを点検します。
   オイルが不足しているときは、49ページを参照して補給してください。



⚠警　告

エンジン回転中および停止後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。
ヤケドに注意してください。

JAU04599

◆エンジンのかかり具合、異音の点検

エンジンがすみやかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。
エンジンから異音がしないかを点検します。

JAU02541

◆低速、加速の状態の点検

暖機運転後に、アイドリングがスムーズに続くかを点検します。
スロットルグリップを徐々に回してエンジンを加速したとき、スロットルグリップもエンジンもスムーズに回るかを走行などして点検します。このとき、エンジンストップ（エンスト）やノッキングなどが起きたら、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02544

◆灯火装置および方向指示灯の点検

1. メインスイッチをONにします。
2. テールランプ、ブレーキランプなどの灯火装置や方向指示灯の点灯・点滅具合が良好かを点検します。
3. エンジンを始動し、ヘッドライトが良好かを点検します。
4. レンズなどに汚れや損傷がないかを点検します。

点灯しないときはヒューズを点検（55ページを参照）し、異常がないときは電球を交換（63ページを参照）してください。

⚠注　意

電球は、正規の規格と同じものと交換してください。これ以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

JAU02552

◆運行において異常が認められた箇所の点検

運行中に異常を認めた箇所について、運行に支障がないかを点検します。

JAU02968

定期点検整備

JAU03279

定期点検整備の実施

定期点検整備は車を使用する人が自己管理責任で定期的に行う点検整備で、法または法に準じて行うことが義務づけられています。二輪自動車または原動機付自転車については、6か月点検と12か月点検の2種類があります。

⚠警　告

- **定期点検整備を怠ると重大な事故、ケガ、トラブルの原因となります。必ず実施してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

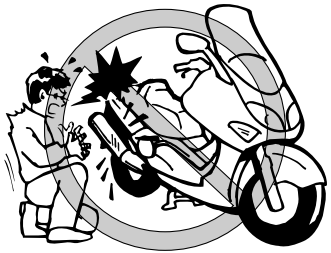
JAU02555

定期点検整備の方法

定期点検項目と基本的な点検内容は別冊の「メンテナンスノート」に記載してあります。ここでは、この車独自の内容を補足説明しています。
実際の点検作業にあたっては、別冊「メンテナンスノート」とあわせてご使用ください。

要　点

- 点検結果は、別冊「メンテナンスノート」の定期点検整備記録簿に記入してください。ご自身でできない項目については、ヤマハ販売店で点検を受け、記録してください。
- 点検の記録は廃車されるまで保存してください。
- メーカー指定項目の点検結果は、定期点検整備記録簿の「その他」の欄に記録してください。



⚠警　告

点検するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- **点検は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。ヤケドに注意してください。**
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。**

- **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**
- **異常が認められたときは、ご使用のかたご自身またはヤマハ販売店で必ず整備を行ってください。**

JAU02566

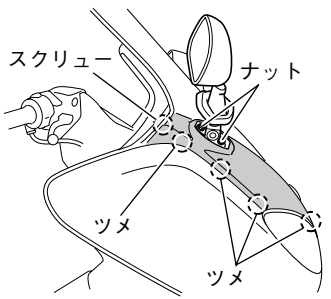
エアクリーナーエレメントの点検

エレメントを取り出し、汚れによる詰まりなどを点検します。
ほこりなどが著しく多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検・清掃を行ってください。

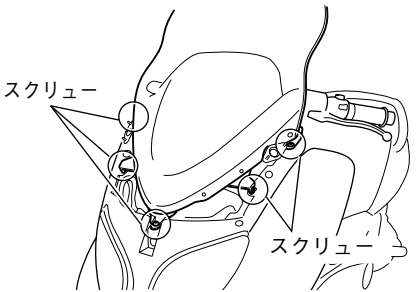
JAU04727

◆エアクリーナーエレメントの取り外し

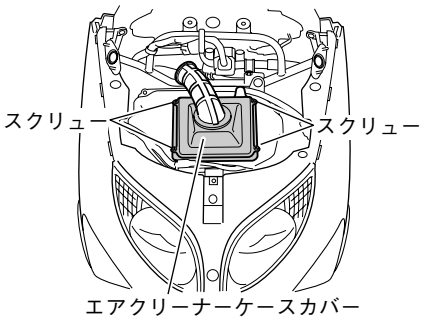
1. ナットを外し、左右のバックミラーを取り外します。
2. スクリューを外し、フロントパネルを取り外します。



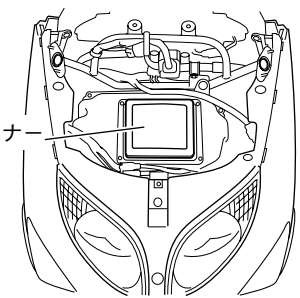
3. スクリューを外し、ウィンドシールドを取り外します。



4. スクリューを外し、エアクリーナーケースカバーを取り外します。



5. エアクリーナーエレメントを取り出します。



JAU02630

◆エアクリーナーエレメントの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。
（エレメントの清掃方法は、51ページ参照）

JAU02635

車体各部の給油脂状態の点検

車体各部の給油脂状態が充分であるかを点検します。
異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU02643

バッテリーの点検

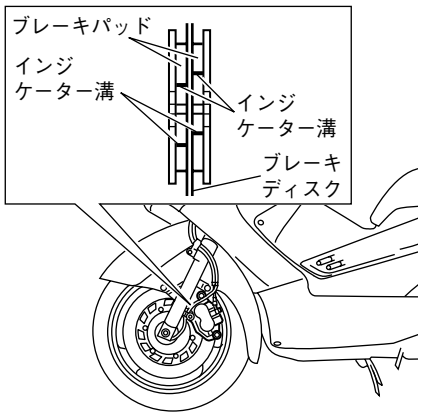
この車のバッテリーは密閉式です。
バッテリー液の補充、点検は不要です。
バッテリーに異常があるときは、ヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

JAU04338

ブレーキパッドの点検

ブレーキパッドの摩耗の状態を点検します。摩耗したブレーキパッドは、ヤマハ販売店で交換してください。

＜前輪ブレーキ＞
ブレーキパッドのインジケーター溝がなくなったら交換してください。



＜後輪ブレーキ＞
後輪ブレーキパッドの摩耗の点検は、ヤマハ販売店でお受けください。

JAU02662

やさしい整備

JAU03281

やさしい整備

点検をして車に異常が認められたときには、調整、清掃、交換などの整備が必要となります。ここでは、通常行われることが多い簡単な整備方法を説明しています。

⚠警　告

安全のため、ご自身の知識、技量にあわせた範囲内で点検・整備を行ってください。難しいと思われる内容はヤマハ販売店にご依頼ください。
点検・整備するときは安全に充分注意し、下記の内容を守ってください。

- **点検・整備は平坦で足場のしっかりした場所を選び、スタンドを立てて行ってください。**
- **エンジン停止直後の点検は、エンジン本体やマフラー、エキゾーストパイプなどが熱くなっています。**
  ヤケドに注意してください。
- **排気ガスには、一酸化炭素などの有害な成分が含まれています。**
  風通しの悪い場所や屋内でエンジンをかけると、ガス中毒を起こす危険があります。エンジンの始動、暖機運転は風通しのよい屋外で行ってください。
- **走行して点検するときは、周囲の交通事情に充分注意してください。**

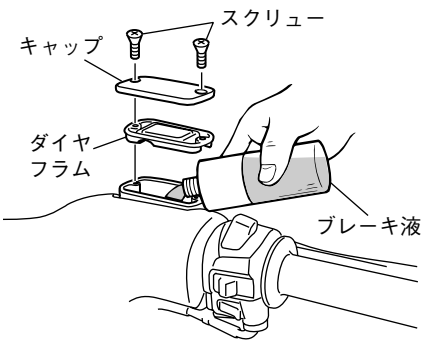
要　点

点検整備に使用する工具は、必要に応じてお買い求めください。（モデルにより、車載工具の有無や内容が異なります。）

JAU03861

ブレーキ液の補給

1. リザーバータンクのまわりをきれいにし、異物がタンク内に入らないようにします。
2. スクリューを外し、キャップとダイヤフラムを取り外します。
3. ブレーキ液をロアレベル以上補給します。
4. ダイヤフラムのかみ込みに注意して、スクリューでキャップを取り付けます。



指定ブレーキ液：ヤマハ純正ブレーキフルード BF－4（DOT－4）

⚠警　告

- **ブレーキ液は、銘柄や性能が異なるものを混入しないでください。**
  銘柄や性能が異なるブレーキ液を混入すると、ブレーキのきき具合やブレーキ系統の部品に悪影響を与えるおそれがあります。
- **ブレーキ液を補給するときは、リザーバータンク内にゴミや水が混入しないようにしてください。**
- **液面はブレーキパッドの摩耗と共に下がってきます。**
  液が早く減少するようでしたら、お買い上げのヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。
- **ブレーキ液は安全のために 1 年毎の交換をおすすめします。**

⚠注　意

- **ブレーキ液の補給は、入れすぎに注意してください。入れすぎると、ダイヤフラムなどを取り付けたときに、あふれます。**
- **ブレーキ液が塗装面やプラスチック、ゴム類に付着すると部品が腐食することがあります。付着したら、すぐにふき取ってください。**

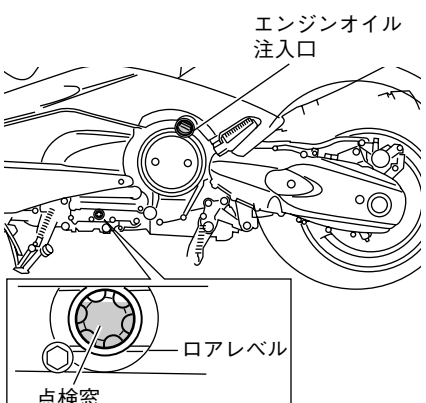
JAU04833

エンジンオイルの補給

▲注　意

エンジンオイル量の点検は、エンジンが冷えた状態で行ってください。

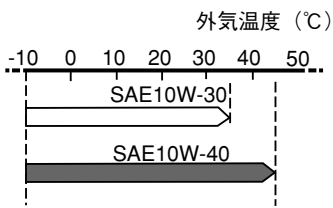
1. 平坦な場所でメインスタンドを立てます。
2. エンジンを始動し、2分間アイドリング運転します。
3. エンジンを止めて2分後、点検窓でエンジンオイル量を点検します。
4. オイル量がロアレベル以下のときはエンジンオイル注入口から補給します。



＜推奨エンジンオイル＞

	SAE	JASO
ヤマハ純正オイル エフェロプレミアム	10W-40	MA
ヤマハ純正オイル エフェロスポーツ	10W-40	MA
ヤマハ純正オイル エフェロベーシック	10W-30	MA

エンジンオイルの粘度は、外気温によって下表を参考にして使いわけてください。



JAU04328

◆エンジンオイルの交換時期

初 回：1か月点検時または1,000km時
2回目以降 ：6,000km走行毎

▲警　告

- **走行後やエンジン暖機運転後、しばらくの間はマフラーやエンジンなどが熱くなっています。**
  ヤケドに注意してください。
- **油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）で適切な処理を行うことが義務づけられています。ヤマハ販売店にご相談ください。**

⚠注　意

- **化学添加剤は一切加えないでください。**
- **補給時に、オイル注入口からゴミなどが入らないように注意してください。**
- **オイルをこぼしたときは、布などでよくふきとってください。**

要　点

- エンジンオイル交換表示灯は球切れの確認のため、走行距離に関係なくメインスイッチをONにすると約1.4秒間点灯します。
- エンジンオイル交換表示灯が点灯したときは、早めにヤマハ販売店でオイル交換を受け、リセットスイッチを押してください。リセットせずにそのまま走行しますと、交換時期がずれてしまいます。（13ページ参照）

JAU04347

チェーンドライブオイル

◆チェーンドライブオイルの交換時期

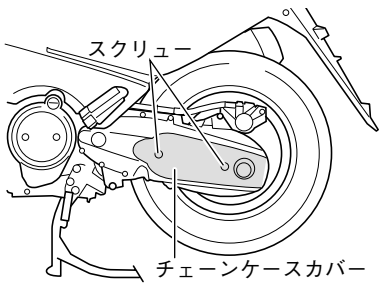
初回：10,000km走行時
2回目以降：10,000km走行毎

定期交換オイル量：0.7L

推奨オイル：ヤマハドライブシャフトオイル

◆チェーンドライブオイル量の点検

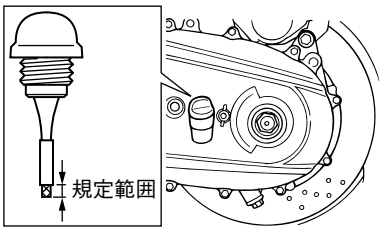
1. スクリューを外し、チェーンケースカバーを取り外します。



2. チェーンドライブオイルが、オイルレベルゲージの規定範囲内にあるかを点検します。

要　点

オイルレベルゲージはねじ込まないで点検します。



オイルが不足しているときは、ヤマハ販売店で点検を受けてください。

3. オイルレベルゲージを確実に締め付け、チェーンケースカバーを取り付けます。

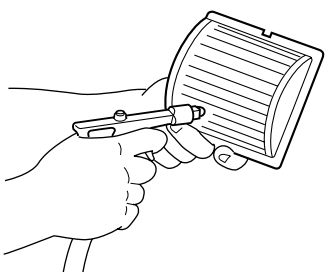
⚠注　意

オイルレベルゲージにはOリングが付いていますので、紛失しないよう注意してください。

JAU02721

エアクリーナーエレメントの清掃

1. エアクリーナーエレメントを取り外します。
   （44ページ参照）
2. エレメントを軽くたたいて、ゴミ、ほこりを落とし、エアをイラストのように吹きつけて清掃します。
3. エレメントをエアクリーナーケースに取り付けます。



▲注　意

- **破れなどのあるものは交換してください。**
- **エアクリーナーエレメントに水や油などをつけないでください。水や油などが付着して汚れているものは交換してください。**
- **エアクリーナーエレメントの取り付けが悪いと、ゴミやほこりがエンジン内部に入り、摩耗や出力低下を起こして耐久性に影響を与えます。確実に取り付けてください。**
- **洗車時にエアクリーナーケースに水を入れないでください。内部に水が入ると、始動不良などの原因になります。**
- **著しくほこりなどの多い場所を走行したときは、定期点検期間より早めに点検、清掃を行ってください。**

JAU02728

冷却水のつくりかた

ヤマハ純正ロングライフクーラントと水道水を1対1で混ぜ合わせます。



▲警　告

クーラントには毒性がありますので、取り扱いには充分注意してください。

- **目に入ったとき**
  水で充分に洗い流してから、医師の治療を受けて下さい。
- **皮膚や衣類についたとき**
  すみやかに水洗いした後、セッケン水で洗ってください。
- **飲んだとき**
  すぐにおう吐させ、医師の治療を受けてください。

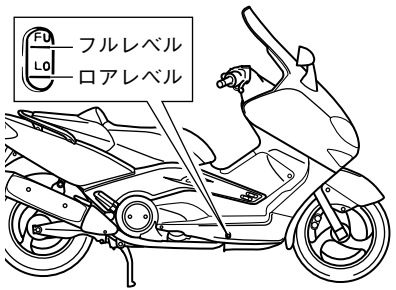
⚠注　意

補充する水は水道水を使用し、井戸水や塩分の含まれた天然水は使用しないでください。

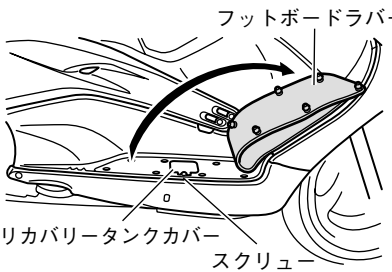
JAU04329

冷却水の補充

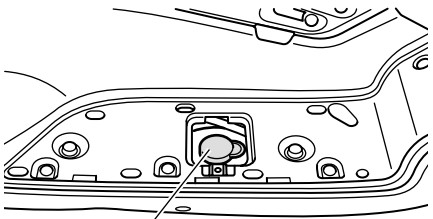
フットボード右下の点検窓からリカバリータンク内の冷却水量を点検します。液面がロアレベルより下にあるときは、冷却水をフルレベルまで補充します。



1. 右のフットボードラバーを外し、スクリューを外してリカバリータンクカバーを取り外します。



2. リカバリータンクキャップを外し、冷却水をフルレベルまで補充します。



3. リカバリータンクキャップ、リカバリータンクカバー、フットボードラバーを取り付けます。

要　点

冷却水量の点検は、エンジンが冷えた状態で行ってください。

⚠注　意

- **フルレベル以上は入れないでください。**
- **冷却水の交換はお買い上げのヤマハ販売店で行ってください。**

JAU02762

タイヤ

◆空気圧

空気圧はタイヤの冷えているときに測定してください。
この車はチューブレスタイヤを装着してあります。

		前　輪	後　輪
タイヤ空気圧	1名乗車	200kPa (2.00kgf／㎠)	225kPa (2.25kgf／㎠)
	2名乗車	225kPa (2.25kgf／㎠)	250kPa (2.50kgf／㎠)
	高速走行	225kPa (2.25kgf／㎠)	250kPa (2.50kgf／㎠)
タイヤサイズ		120/70-14 M/C 55S	150/70-14 M/C 66S
指定タイヤ	ブリヂストン	HOOP B03	HOOP B02

JAU02769

◆溝の深さ

安定したコーナリングや操縦性などを確保して安全な走行を行うため、タイヤの溝には充分注意してください。一般的に二輪車のタイヤは溝の深さが前輪1.6mm、後輪2.0mm以下になりましたら交換をおすすめします。

⚠警　告

異なった種類のタイヤや指定サイズ以外のタイヤを使用することは、車の安全走行に悪影響がありますので使用しないでください。

JAU02772

バッテリー

バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、バッテリーを取り外して清掃します。

⚠警　告

バッテリーは引火性ガス（水素ガス）を発生しますので、取り扱いを誤ると爆発し、ケガをすることがあります。次の点を必ず守ってください。

- **火気厳禁です。ショートやスパークさせたり、タバコなどの火気を近づけないでください。爆発のおそれがあります。**
- **補充電は風通しのよいところで行ってください。**
- **ガソリン、油、有機溶剤などを付着させないでください。電そう割れの原因となることがあります。**
- **落下などの強い衝撃を加えないでください。**
- **バッテリー液は希硫酸です。皮膚、目、衣服などに付着すると、重大な傷害を受けることがあります。**
- **子供の手の届くところに置かないでください。**

応急手当

- **万一、バッテリー液が皮膚、衣服などについたときは、すぐに多量の水で洗い流してください。**
- **目に入ったときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。**

⚠注　意

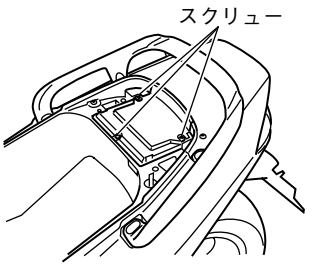
このバッテリーは密閉式の12Vです。

- **このバッテリーは液入り充電済です。液量点検および補水は必要ありません。**
- **補充電には、密閉式バッテリー専用充電器を使用してください。くわしくはヤマハ販売店にご相談ください。**
- **長期間ご使用にならないときは、6か月ごとに補充電してください。**
- **バッテリーを交換するときは、必ず同型式のバッテリーを使用してください。**

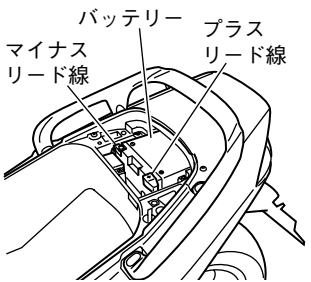
JAU04333

◆バッテリーの取り外し

1. メインスイッチをOFFにします。
2. シートを開けます。
3. スクリューを外し、バッテリーカバーを取り外します。



4. ⊖（マイナス）側リード線を外し、次に⊕（プラス）側リード線を外します。



5. バッテリーを取り外します。

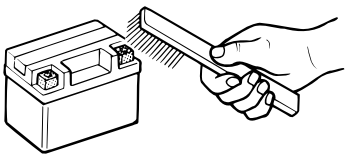
◆バッテリーの取り付け

取り付けは、取り外しと逆の手順で行います。

JAU02809

◆ターミナル部の清掃

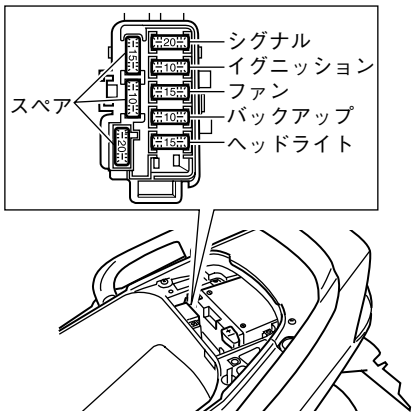
バッテリーターミナル部に汚れや腐食があるときは、やわらかいブラシなどで清掃します。また、白い粉がついているときは、ぬるま湯を注いでよくふき取ります。



JAU04330

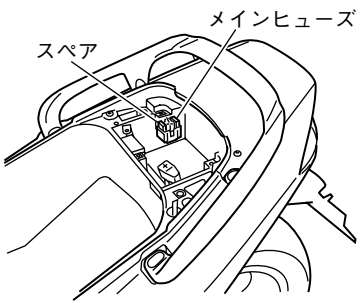
ヒューズ

系統別ヒューズはバッテリー前方にセットされています。



系統別ヒューズ
シグナル：20A
イグニッション：10A
ファン：15A
バックアップ：10A
ヘッドライト：15A

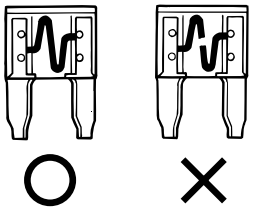
メインヒューズはバッテリーを取り外したところにセットされています。（バッテリーの取り外しは54ページ参照）



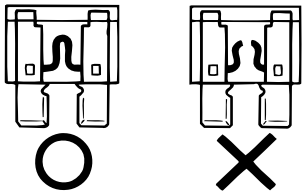
メインヒューズ：30A

ヒューズが切れたときは、原因を調べてから新品のヒューズと交換してください。

系統別ヒューズ



メインヒューズ



⚠注　意

- **交換するヒューズは、規格外のものを使用しないでください。**
- **指定容量を超えるヒューズを使用すると、配線の過熱や焼損の原因になります。**
- **電装品類（ライト、計器など）を取り付けるときは、車種ごとに決められている「ヤマハ純正部品」を使用してください。それ以外のものを使用すると、ヒューズが切れたり、バッテリーあがりを起こすことがあります。**

JAU02845

お車の手入れ

いつまでも車を長持ちさせるために、お手入れをしてください。
すみずみまで掃除すれば、普段気付かない異常箇所や摩耗が発見でき、故障の予防にもなります。

JAU04027

洗　車



雨天走行後など、車が汚れたときは早めに洗車してください。車をサビやキズから守ります。

- 中性洗剤を使用して水洗いします。洗車後は柔らかい布で水分をよくふきとります。からぶきはキズの原因になりますので、しないでください。また、スチーム洗車や水道ホースなどで、車に直接圧力をかける洗車もしないでください。
- 洗車後、必要に応じて各部にグリースなどを注油してください。
- 車の塗装面保護のため、ワックスがけをしてください。

ワックス：ユニコンカークリーム

⚠警　告

- **洗車はエンジンが冷えているときにしてください。**
- **洗車後ブレーキのききが悪くなることがあります。ききが悪いときは、前後の車に充分注意しながら低速で走行し、ききが回復するまで数回ブレーキを軽く作動させて、ブレーキの湿りをかわかしてください。**
- **ブレーキディスクやパッドにワックスやグリースなどの油脂類をつけないでください。ブレーキが効かなくなり事故の原因となります。**

⚠注　意

- **エンジンとカバーの間に布などを置かないでください。燃えることがあります。**
- **エアクリーナーや電装品などに水が入らないように注意してください。故障の原因になります。**
- **マフラー内部に水がたまると、始動不良やサビの原因になることがあります。洗車時はビニール袋をかけるなどして、内部に水が入らないようにしてください。**
- **コンパウンドの入ったワックスは、プラスチック部分を傷つけますので、使用しないでください。**

JAU02860

キャストホイールの取り扱い

日常のお手入れ

清掃は中性洗剤を使用し、スポンジで水洗いします。

（工業用洗剤、みがき粉、クレンザー、金属タワシなどは、傷がつくので使用しないでください。）

洗車後は、乾いた布などで水分をよくふきとってください。

長期間お手入れをしませんと、表面だけでなく内部まで腐食します。手遅れにならないように、お手入れをしてください。

⚠警　告

変形したり、損傷したキャストホイールは、修正して使用しないでください。変形したり、損傷したときは、ヤマハ販売店にご相談ください。

⚠注　意

- **縁石などに乗り上げるときは、キャストホイールのリムが傷つきやすいので注意してください。**
- **アルミは塩分に弱く腐食しやすいので、海岸付近や凍結防止剤をまいた道路などを走った後は、すぐに水洗いをしてください。**

JAU02864

ウインドスクリーンの取り扱い

使用上の注意

- 走行前、各部が確実に取り付けてあるか、取り付けにガタがないかなどを点検してください。
- ウインドスクリーンの清掃は、キズをつけないように中性洗剤を使い、柔らかい布かスポンジで水洗いします。洗車後は、柔らかい布などで水分をよくふきとってください。

⚠警　告

ウインドスクリーンとメーターフードの間に物を置くと、視界を妨げたり、運転操作に影響を与えることがあります。
物を置かないでください。

⚠注　意

- **ウインドスクリーンにガソリンやブレーキ液、アルカリ性および強酸性のクリーナー、その他の溶剤などがかかると、ヒビ割れ等の原因になりますので注意してください。**
- **ヒビ割れのあるウインドスクリーンは使用しないでください。**

JAU04127

保管のしかた



車はできるだけ敷地内に保管し、屋外に駐車するときはボディーカバーをかけてください。
なお、ボディーカバーはマフラーが冷えてからかけてください。

⚠注　意

長期間お乗りにならないときは、以下のことを守ってください。

- **保管する前にワックスがけをしてください。サビを防ぐ効果があります。**
- **6 か月ごとにバッテリーの補充電をしてください。**
- **長期保管後の走行前には、バッテリーの充電、および各部の点検をしてください。**

JAU04802

アフターケア用品について

大切な車の寿命は、使用するオイルの品質により大きく左右されます。ヤマハの車には、ヤマハ純正用品をご使用ください。

A）4サイクルオイルエフェロプレミアム
高回転・高負荷下でも油膜保持性能が高く、高性能エンジン搭載の中・大型車に最適な高品質オイルです。

B）4サイクルオイルエフェロスポーツ
オイル消費を抑え、高速走行、ロングツーリングなどでも優れた性能を発揮するマルチタイプのオイルです。

C）4サイクルオイルエフェロベーシック
一般走行、業務用に最適なコストパフォーマンスオイルです。

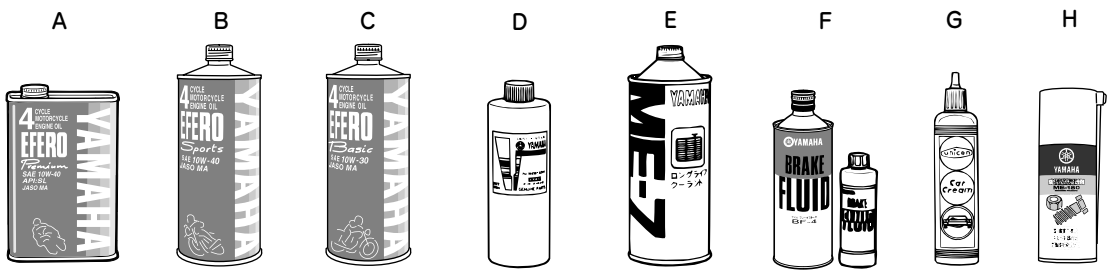
D）ドライブシャフトオイル
潤滑条件が過酷なドライブシャフトギヤを保護し、円滑な作動を長時間維持するオイルです。
TMAXでは、チェーンドライブオイルとして使用します。

E）ME-7
水冷専用：過酷な状況でも安定した冷却効果と優れた防錆、防食力のある不凍液です。

F）ブレーキフルード
高沸点、防錆性、安定性、ゴム劣化防止性に優れたブレーキフルードです。

G）ユニコンカークリーム（ワックス）
塗装面の汚れを簡単にとり、手間をかけずに美しい光沢が得られます。また、どんな塗装にも使用できる伸びのよいワックスです。

H）ME-180 防錆潤滑剤
防錆、潤滑、防湿、浸透力に優れた金属保護液です。



JAU04803

こんなときは

こんなときは、ヤマハ販売店にご相談される前に次のことを調べてください。

エンジンが始動しないときは？

次の項目を確認してください。
1. メインスイッチはONになっていますか？また、エンジンストップスイッチは🔄になっていますか？
2. ガソリンはありますか？
   燃料計にてガソリン量を確認してください。
   燃料計の指針が “E” のときは、最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
3. 前後輪どちらかのブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
4. スロットルグリップを回さずにスタータースイッチを押しましたか？
5. サイドスタンドを使用していませんか？

以上のことを確認してから、29ページの「エンジンのかけかた」の方法でエンジンをかけなおしてください。

スターターモーターが回らないときは？

スタータースイッチを押してもスターターモーターが回らないときは、次の項目を確認してください。
1. メインスイッチはONになっていますか？また、エンジンストップスイッチは🔄になっていますか？
2. 前後輪どちらかのブレーキレバーを握ってスタータースイッチを押しましたか？
3. サイドスタンドを使用していませんか？

以上のことを確認してもスターターモーターが回らないときは、・・・・
- ヒューズ切れが考えられます。55ページを参照してヒューズを点検してください。
- ヒューズに異常がないときは、早めにヤマハ販売店で点検・整備を受けてください。

ランプ類が点灯しないときは？

次の順序で点検してください。
1. メインスイッチがONになっていますか？
2. 各スイッチを作動させていますか？
3. エンジンは始動できますか？

以上のことを確認してもランプ類が点灯しないときは、・・・・
- ヒューズ切れが考えられます。55ページを参照してヒューズを点検してください。
- ヒューズに異常がないときは、ランプ自体の球切れが考えられます。63ページの規格に合わせて、同じものと交換してください。

⚠注　意

電球は、正規の規格と同じものと交換してください。これ以外のものを使用すると、球切れ、作動不良などの原因となります。

走行中にエンジンが止まったときは？

ガソリンはありますか？
燃料計でガソリン量を確認してください。
燃料計の指針が “E” のときは、最寄りのガソリンスタンドで給油してください。
上記のことを確認してから、29ページの「エンジンのかけかた」の方法でエンジンをかけなおしてください。

走行中、エンジンオイル交換表示灯が点灯したときは？

早めに、ヤマハ販売店でエンジンオイルを交換してください。

推奨エンジンオイル：
ヤマハエフェロ プレミアム、スポーツ、ベーシック

交換後、リセットスイッチを押すとエンジンオイル交換表示灯は消灯します。

⚠注　意

オイル交換をしないまま走行すると、エンジンが故障する原因となります。

走行中、Vベルト交換表示灯が点灯したときは？

早めに、ヤマハ販売店でVベルトを交換してください。

⚠注　意

Vベルトを交換しないまま走行すると、走行不能となるなど、故障の原因となります。

サービスデータ

製品仕様

通称名		XP500 TMAX
車名・型式		ヤマハ・BC-SJ02J
寸法	全長	2235mm
	全幅	775mm
	全高	1410mm
	軸間距離	1575mm
	最低地上高	130mm
重量	車両重量	218kg
	前輪分布	99kg
	後輪分布	119kg
	車両総重量	328kg
	前輪分布	125kg
	後輪分布	203kg
乗車定員		2名
性能	定地燃費(国土交通省届出値)	30.0km/L（60km/h）
	最小回転半径	2800mm
原動機	最高出力	28kW(38PS)/7000 r/min
	最大トルク	44Nm(4.5kgf・m)/ 5500 r/min
	原動機種類	4サイクル、水冷、DOHC
	気筒数・配列	直列 2気筒 横置
	総排気量	499㎤（cc）

原動機	内径×行程	66.0×73.0mm
	圧縮比	10.1：1
	エアクリーナー形式	乾式不織布
	始動方式	セル
	点火方式	トランジスタ
車体	フレーム形式	ダイヤモンド
	キャスター	28° 00′
	トレール	95mm
	ハンドル切れ角	左右各39°
	フューエルタンク容量	14L
	ブレーキ形式（前）	油圧ディスクブレーキ
	↑（後）	油圧ディスクブレーキ
	懸架方式（前）	テレスコピック
	↑（後）	スイングアーム
	緩衝方式（前）	コイルスプリング／オイルダンパー
	↑（後）	コイルスプリング／ガスオイルダンパー
	タイヤサイズ（前）	120/70-14M/C 55S（チューブレス）
	↑（後）	150/70-14M/C 66S（チューブレス）

減速比	第1次減速比	2.659
	変速比	2.322～0.800
	第2次減速比	2.262
灯火・計器	ヘッドライト（右）	上向き 12V 60W（ハロゲン）
	ヘッドライト（左）	下向き 12V 55W（ハロゲン）
	ブレーキ/テールランプ	12V 21/5W×2
	方向指示灯（前）/フロントポジションランプ	12V 21/5W×2
	方向指示灯（後）	12V 21W×2
	メーター灯	12V 1.7W×3
	ライセンスランプ	12V 5W
	トランク照明灯	12V 2W
	パイロットランプ ヘッドライト上向き表示	12V 1.7W
	パイロットランプ 方向指示器表示	12V 3.4W×2
	パイロットランプ エンジンオイル交換表示	12V 1.7W
	パイロットランプ Vベルト交換表示	12V 1.7W

定地燃費は定められた試験条件のもとでの値です。走行時の気象、道路、車両、整備などの諸条件によって異なります。

JAU02903

サービスデータ

エンジンオイル	交換時	2800 ㎤（cc）	リヤブレーキ	パッドの厚さ		8.3 mm	バッテリー	型式		GT9B-4
	エレメント交換時	2900 ㎤（cc）		パッドの摩耗限度		0.8 mm		容量		12V 8Ah
	オーバーホール時	3600 ㎤（cc）	ホイールトラベル		前	120 mm	スパークプラグ	型式		CR7E
ドライブチェーンオイル		700 ㎤（cc）			後	120 mm		ギャップ		0.7～0.8 mm
冷却水	リカバリータンク	600 ㎤（cc）	タイヤ空気圧	1名乗車	前	200 kPa（2.00 kgf/㎠）	ヒューズ	メイン		30 A
	全容量	1500 ㎤（cc）			後	225 kPa（2.25 kgf/㎠）		シグナル		20 A
ブレーキの遊び	前	0 mm		2名乗車	前	225 kPa（2.25 kgf/㎠）		イグニッション		10 A
	後	0 mm			後	250 kPa（2.50 kgf/㎠）		ファン		15 A
フロントブレーキ	パッドの厚さ	6.0 mm		高速走行	前	225 kPa（2.25 kgf/㎠）		バックアップ		10 A
	パッドの摩耗限度	0.8 mm（インジケーター付）			後	250 kPa（2.50 kgf/㎠）		ヘッドライト		15 A

JAU02905

サービスマニュアル（別売）の紹介

サービスマニュアルには、点検・調整や分解・組立の方法を写真やイラストを用いて説明してあります。車の概要や構造を理解するためにご利用ください。

サービスマニュアルのご注文は、ヤマハ販売店で受けております。部品番号をお知らせください。

TMAX（XP500）サービスマニュアル	部品番号 5GJ-28197-J0

JAU03771

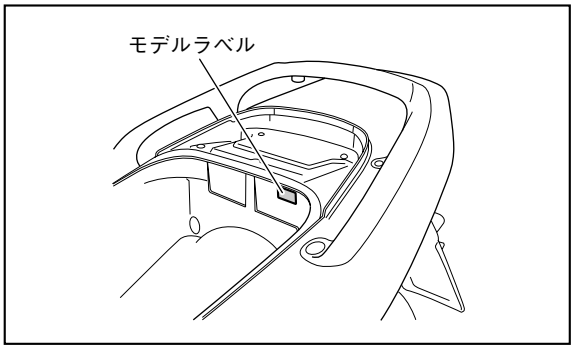
車両情報

◆モデルラベル

パーツオーダー、アフターサービスなどに使用します。

モデルラベルは、あなたの車を正確に特定するための情報をコード化したものです。ご相談の際には、車名およびモデルラベルの内容を正確にご連絡ください。

モデルラベルは、メイントランク後方に貼り付けてあります。



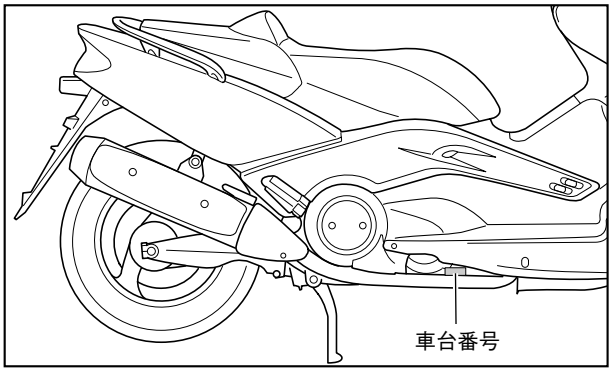
あなたの車の情報を記入し、控えにしてください。

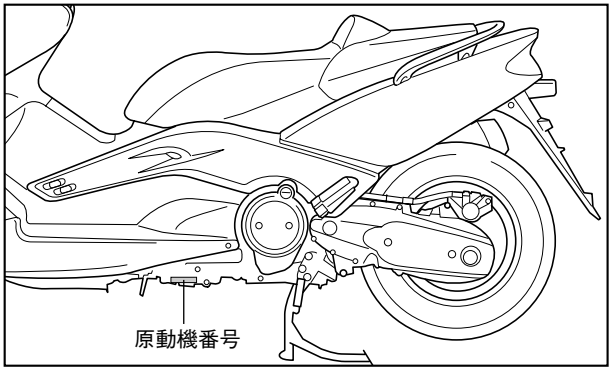
車　名　は	XP500　TMAX
モデルラベル	製品仕様を示しています。 ○ カラーリングを示しています。 ●

◆車台番号、原動機番号

ナンバー登録、自動車保険の加入などに使用します。

詳しくは、お買い求めの販売店にご相談ください。





あなたの街のあなたのお店

最寄りのお客様相談窓口については、メンテナンスノートの巻末をご覧ください。

5GJ-28199-J2

YAMAHA

ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500

TMAX 取扱説明書
020300
再生紙を使用しています